

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成24年3月期 決算短信説明資料
平成24年5月10日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③損益計算書総括
- ④貸借対照表
- ⑤損益計算書
- ⑥キャッシュ・フロー計算書
- ⑦業績トピックス(業績推移)
- ⑧業績トピックス(営業利益率およびユーザー買取台数)
- ⑨業績トピックス(預託金返還請求訴訟の完全勝訴)
- ⑩業績トピックス(新規出店店舗の実績)

【2】平成25年3月期 事業計画

- ①事業計画
- ②中古車業界の見通し
- ③営業施策
- ④カーチス倶楽部
- ⑤新規出店計画
- ⑥その他事業計画

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

①自動車流通業市場の背景

■ 2011年度自動車市場

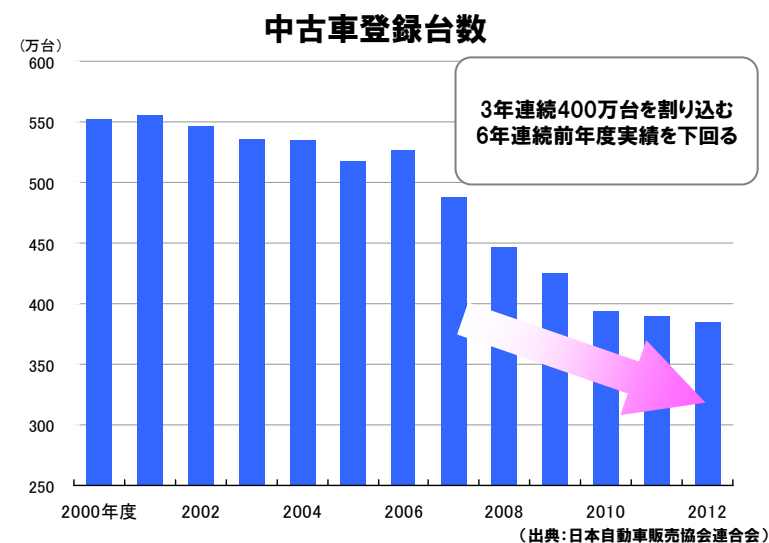
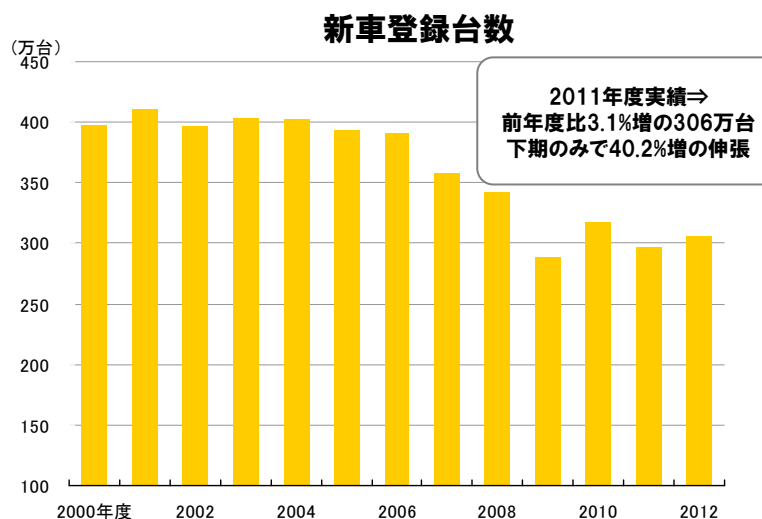
新車登録台数＝下期の伸張により、前年度比3.1%増

中古車登録台数＝統計開始以来過去最低、前年度比1.0%減

■ 今後の見通し

新車 ⇒ エコカー補助金制度復活による追い風続く

中古車 ⇒ 新車販売好調により中古車が供給過多となり、相場が低調に推移する
可能性があり、依然見通しは不透明

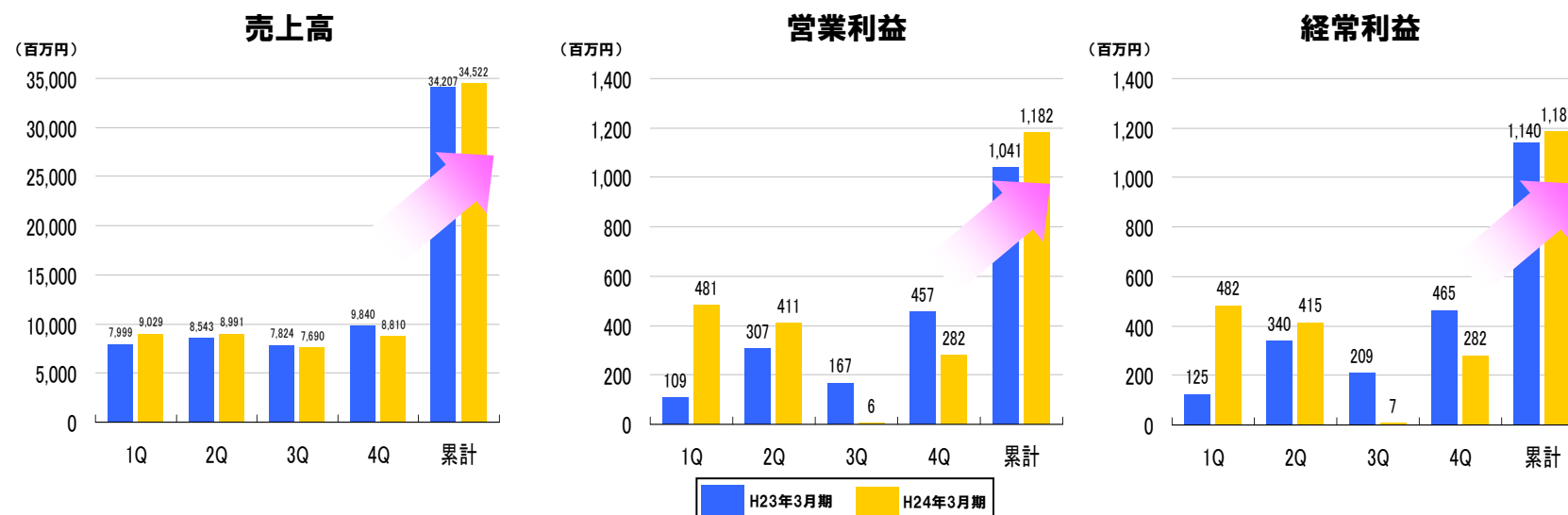


【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

②業績ハイライト

下半期業績進捗が鈍化するも、増収増益を確保

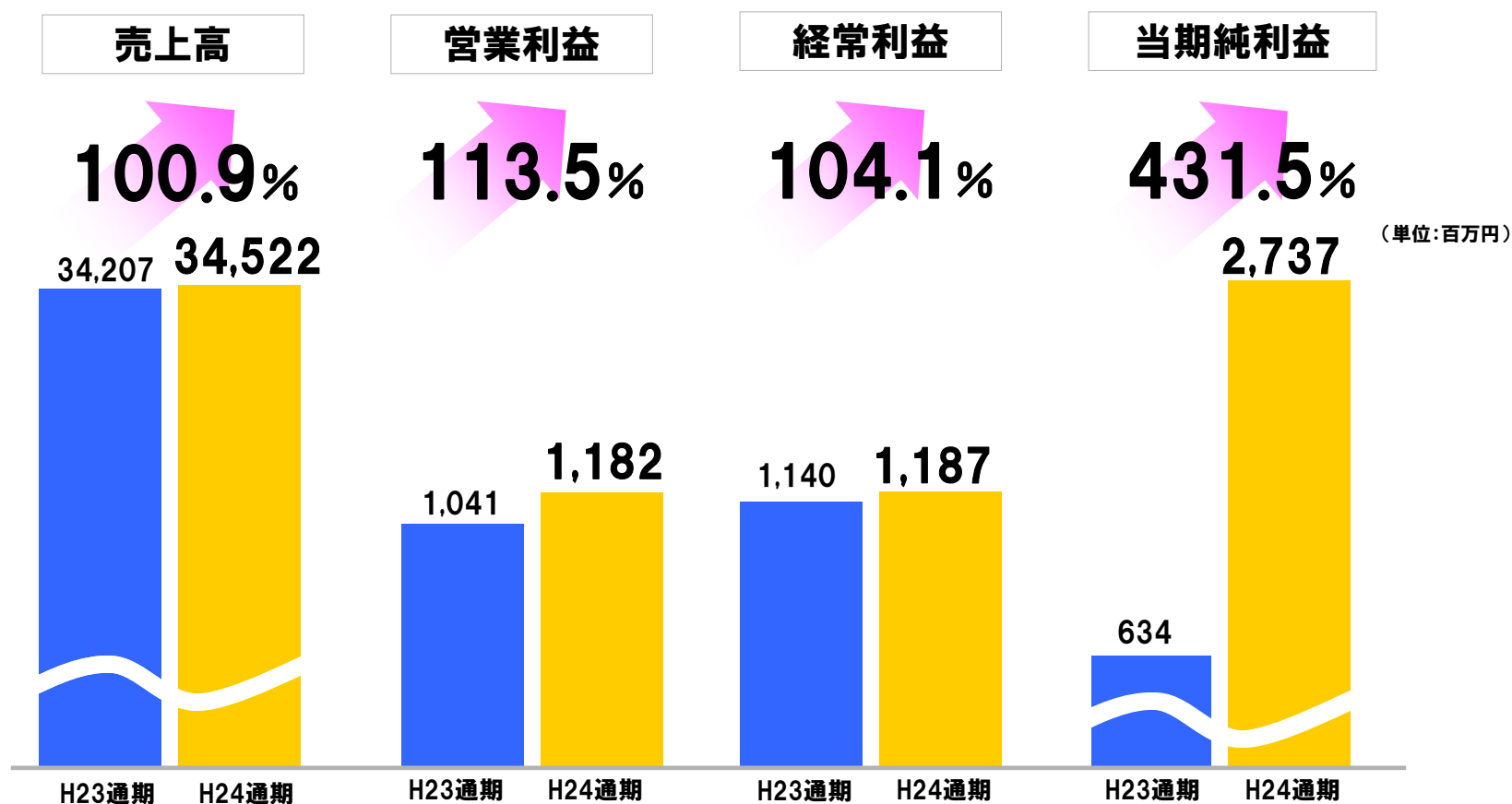
- ・【累 計】売上高 34,522百万円、営業利益1,182百万円、経常利益1,187百万円
- ・【4 Q】売上高 8,810百万円（前年同期比89.5%）
 営業利益 282百万円（前年同期比61.7%）
 経常利益 282百万円（前年同期比60.6%）



【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

③損益計算書総括

厳しい環境下、2期連続の増収増益を達成



【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

④貸借対照表

自己資本比率および流動比率ともに向上(前期比)

(単位:百万円)

	平成24年3月期末	平成23年3月期末	前期末比	平成24年3月期 3Q	前四半期末比
流動資産	6,090	5,252	116.0%	5,631	108.1%
固定資産	969	1,066	90.9%	1,012	95.8%
総資産	7,059	6,318	111.7%	6,643	106.3%
流動負債	2,124	4,128	51.5%	1,822	116.6%
固定負債	170	147	115.6%	173	98.1%
純資産	4,765	2,042	233.3%	4,648	102.5%
負債・純資産合計	7,059	6,318	111.7%	6,643	106.3%

《補足説明(前期末比)》

- ✓ 流動資産 : 前期末比838百万円増加 現預金・売掛金1,294百万円増加、商品311百万円減少
- ✓ 流動負債 : 前期末比2,004百万円減少 訴訟損失引当金1,871百万円、閉鎖店舗引当金244百万円減少
 - ▶ 流動比率 286.7% (前期末 127.2%)
- ✓ 純資産 : 当期純利益2,737百万円の計上により増加
 - ▶ 自己資本比率 67.5% (前期末 32.1%)

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

⑤損益計算書

上半期後半からのオートオークション相場下落等により業績苦戦も、増収増益を確保

(単位:百万円)

	平成24年3月期 累計	平成23年3月期 累計	前年同期 増減率
売上高	34,522	34,207	+0.9%
売上原価	27,763	27,587	+0.6%
売上総利益	6,759	6,619	+2.1%
販管費	5,577	5,578	△0.0%
営業利益	1,182	1,041	+13.5%
経常利益	1,187	1,140	+4.1%
当期純利益	2,737	634	+331.5%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 上半期は順調に推移していたものの、不安定なオートオークション相場等の影響により業績鈍化、前年比0.9%増に留まる
- ✓ 売上総利益 : 上半期20.3%であった売上総利益率が、下半期は、オートオークション相場下落等の影響により低下したものの、19.6%(前期比0.2%増)で着地
- ✓ 販売管理費 : 広告宣伝費や人件費等が増加したものの、地代家賃等の減少等により、前年と横ばいに。
- ✓ 営業利益 : 2Q累計で前年比114.6%増で推移したものの、3Qの苦戦の影響により、前年比13.5%増加
- ✓ 当期純利益 : 繰延税金資産を166百万円取り崩したものの、特別利益(1Q)を1,832百万円を計上した結果、前年比331.5%増加

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

⑥キャッシュ・フロー計算書

営業キャッシュ・フロー、大幅増加(2,318百万円)

(単位:百万円)

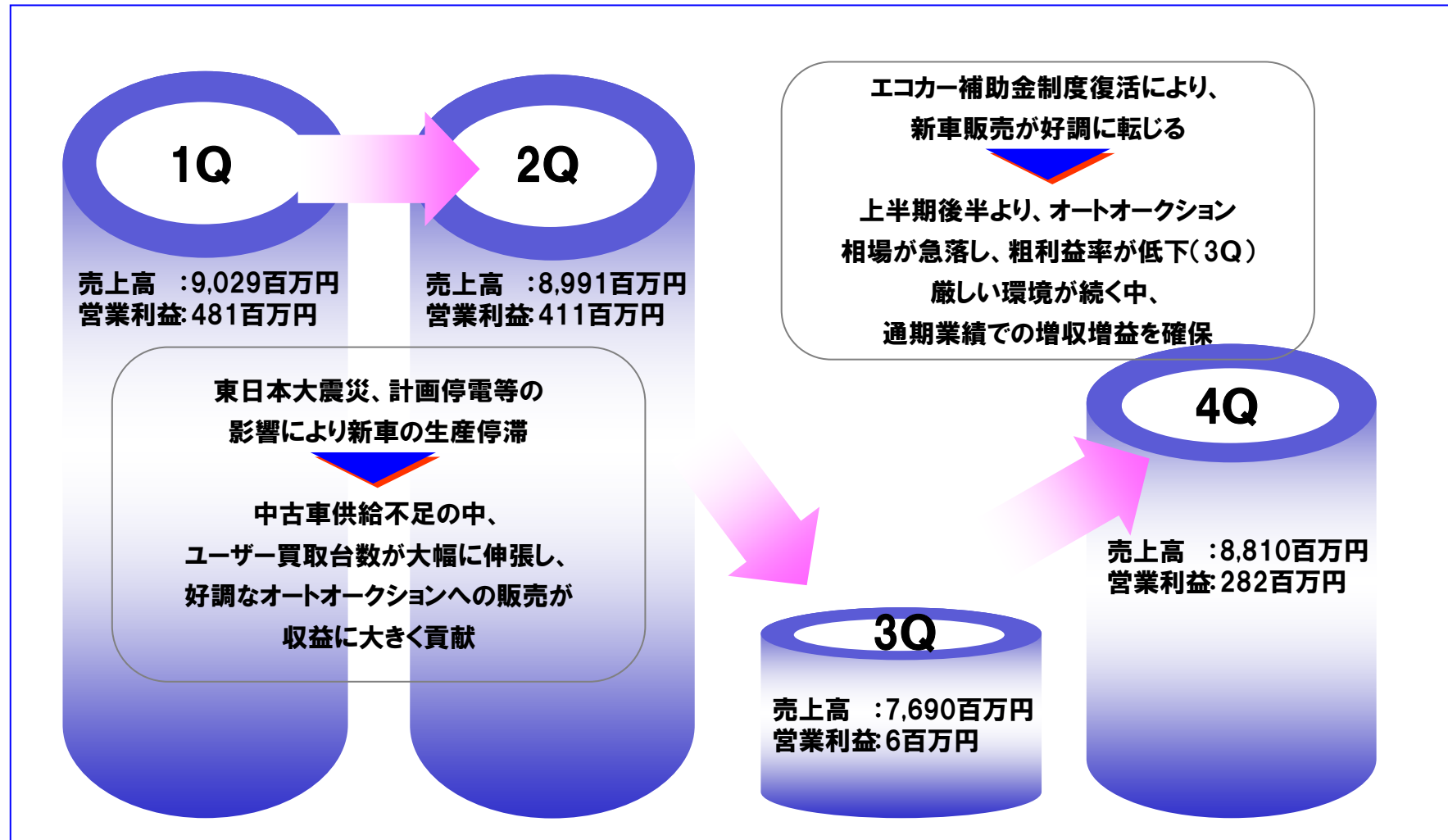
	平成24年3月期 累計	平成23年3月期 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,318	△222
投資活動によるキャッシュ・フロー	12	528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△5
現金及び現金同等物の増加額	2,321	301
現金及び現金同等物の期末残高	3,528	1,207

《補足説明》

- ✓ 営業CF : 閉鎖店舗引当金の減少(244百万円)のマイナス要因があったものの、大幅な増益、1Qにおける訴訟の勝訴による拘束性預金(500百万円)の解除、売上債権の減少(520百万円)およびたな卸資産の減少(312百万円)により、大幅増加
- ✓ 投資CF : 敷金回収による収入、投資有価証券の売却による収入により増加

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

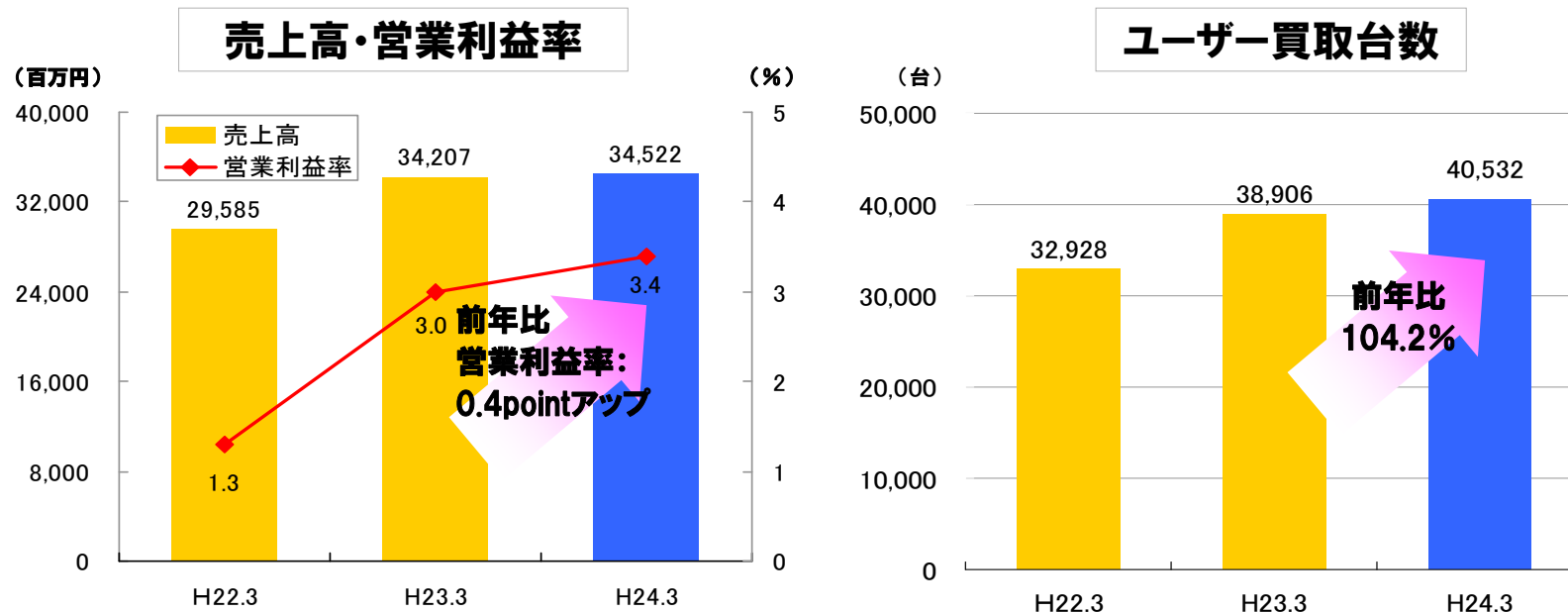
⑦業績トピックス(業績推移)



【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

⑧業績トピックス(営業利益率およびユーザー買取台数)

■ 粗利益率微増も販管費の抑制により、営業利益率上昇



- ✓ 中古車業界は、依然厳しい状況が続く中、前々期からの積極的かつ効果的な新規出店によりユーザー買取台数が続伸。(前年比104.2%)
- ✓ 売上総利益率は、前年比0.2ポイント上昇の19.6%

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

⑨業績トピックス(預託金返還請求訴訟の完全勝訴)

■ 預託金返還請求訴訟の経緯

✓平成20年3月4日、東京地方裁判所に当社元役員(以下、「原告」という。)より、当社に預託した約37.4億円の返還請求権を有しているとして訴訟を提起される。

✓一審判決(平成22年10月12日)

原告側の主張を全面的に認める判決により当社敗訴

■ 今期進捗

控訴審完全勝訴

一審判決が棄却され、当社の主張が全面的に認められる。
一審判決により、拘束されていた預金5億円は、拘束解除となる。

(平成23年6月15日プレスリリース)

上告受理の申立て

一審原告である被控訴人より上告受理申立てがなされる。

(平成23年6月30日プレスリリース)

特別利益の計上

**訴訟損失引当金戻入益
1,799百万円を計上**

平成20年3月期決算において計上した訴訟損失引当金1,871百万円について、監査法人との協議の結果、弁護士費用等を除いた金額を特別利益として計上。

(平成23年8月5日プレスリリース)

最高裁において上告受理の申立てが棄却され、完全勝訴確定

(平成24年3月7日プレスリリース)

【1】平成24年3月期 当期連結決算の状況

⑩業績トピックス(新規出店店舗の実績)

前期(5店舗)及び今期(8店舗)新規出店店舗の業績好調、売上・収益に寄与



【カーチス成田 店舗外観】

	店舗名	OPEN	今期実績
前期 新規出店	カーチス江戸川	H22.4	売上高 1,874百万円 店舗収益 64百万円
	カーチス小田原	H22.4	
	カーチス倉吉	H22.8	
	カーチス泉大津	H22.10	
	カーチス越谷	H23.1	
今期 新規出店	カーチス花小金井	H23.4	売上高 1,287百万円 店舗収益 16百万円
	カーチス松本	H23.6	
	カーチス釧路	H23.9	
	カーチス寝屋川	H23.9	
	カーチス貝塚	H23.10	
	カーチス三郷	H23.11	
	カーチス箕面	H23.12	
	カーチス成田	H23.12	

効率的な新規出店を継続し、新卒を含め人材を積極的に採用

【2】平成25年3月期 事業計画

【2】平成25年3月期 事業計画

①事業計画

売上高367億(前年比106.3%)、営業利益8.9億円(前年比75.3%)

■社員増員、新規出店等により増収を見込むも、新車のエコカー補助金制度の影響等によりオートオークション相場低迷の懸念があり、不安定な環境が続く見通し

(単位:百万円)

	第2四半期 連結累計期間	通期
売上高	17,700	36,700
営業利益	350	890
経常利益	350	890
当期純利益	290	770

【2】平成25年3月期 事業計画

②中古車業界の見通し

今期中古車業界の見通し

■エコカー補助金制度の復活により、中古車業界の先行きは不透明

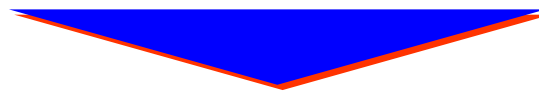
✓新車受注は好調(⇒7ヶ月連続で前年実績を上回る)

⇒ <オートオークション販売>新車ディーラーからの下取車両が大量に流通し、相場下落の懸念

⇒ <ユーザー販売>新車と中古車の価格差が縮まり、中古車のメリットの希薄化

✓新車からの乗り換えによる一括査定見積サイトを中心とした買取情報増加

⇒ 新車の納期遅れが多発した影響などにより、一括査定見積サイトからの買取情報の成約率が低下し、買取情報に対する費用対効果は低下する懸念



厳しい環境の中、減益を見込むも
新規店舗出店および人材育成に注力し、
更なる成長への足固めを図る

【2】平成25年3月期 事業計画

③営業施策

ユーザー買取の強化

■「顧客満足度No.1」を6年連続で獲得

- ✓株式会社ウェブクルーが運営する「車買取比較.com」において2006年4月以来、6年連続で「業者別満足度ランキング」No.1を獲得



新規店舗の出店および既存店舗の集客に注力し、
評価の高い接客により、更なる買取台数増加を目指す

ユーザー販売の強化

■大型中古車展示場のみならず、買取店舗においても厳選した良質車を展示し、ユーザー販売台数比率を増加させる

- ✓相場が下落傾向にあるオートオークションへの販売比率を押し下げ、ユーザー販売へ注力

「買取直販」(「良いクルマをより高く買取り、より安く売る」)
を浸透・定着させ、業界No.1を目指す

【2】平成25年3月期 事業計画

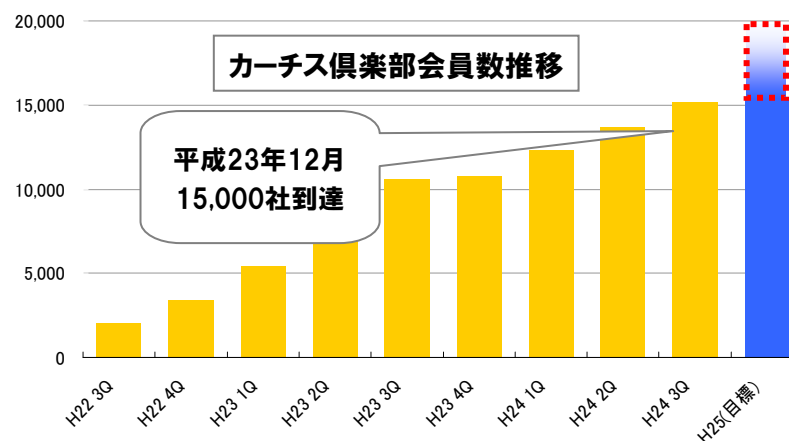
④カーチス倶楽部

カーチス倶楽部(自動車関連事業者会員組織)の更なる拡充

⇒ 会員数 15,000社到達(2011年12月)

業者販売のみならず、当社の求車情報により
会員様の在庫車輛を積極的に買取

他社と提携し、共有在庫システムの構築を実施
更なる在庫共有化を検討中



会員様へのサービスを充実させ、
更なる組織の拡大を図る
(目標 20,000社)



【「カーチス倶楽部」会員様専用HP】

【2】平成25年3月期 事業計画

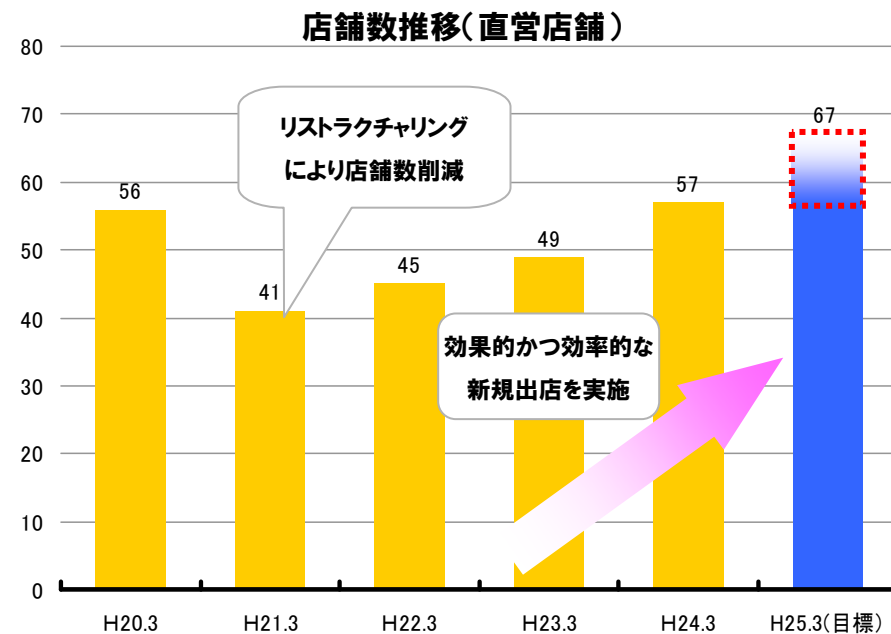
⑤新規出店計画

今期10店舗出店予定

- 効果的かつ効率的な新規出店を推進
- 買取情報量に即した店舗展開を実現し、更なる機動力強化を図る

新規店舗の出店により
隣接する既存店舗との連携を強化し、
出張査定サービスのクオリティを高める

出張査定サービス網
を拡大させ、
「買取直販」モデルを更に追求する



【2】平成25年3月期 事業計画

⑥その他事業計画

M & A・海外進出の検討

- ✓ 韓国における市場調査完了、パートナー企業候補との協議を継続中
- ✓ アジア圏を中心に、他国も調査開始
- ✓ 国内外を問わず、同業および周辺事業のM & A案件を模索

